



人の輪と集落の和

平成29年度事業報告書 平成30年度事業計画書



農事組合法人 酒人ふぁ～む URL <http://www.sakoudo.jp/>

目 次

○ ごあいさつ	1
○ 第19回通常総会次第	2
○ 第19回通常総会提出議案	3
○ 平成29年度事業報告書	
部門別事業報告	4～13
貸借対照表	14
損益計算書	15～17
平成29年度剰余金処分案	18
附属明細書	19～20
監査報告書	21
○ 平成30年度事業計画書	22～29
○ 議案資料	30
○ 組織図	31

組合員のみなさまへ

第19回通常総会を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年の秋は、台風が来た上に、雨天の続く日が多く、農作業にも影響する日がありました。自然災害が比較的少ない地域ではありますが、台風のときには、ビニールハウスに影響がありました。農業には自然に影響されやすい面もありますが、自然とうまく付き合うのも農業かな、と思います。

「第七次3ヵ年計画」の中で、「不易流行（ふえきりゅうこう）」という四字熟語を用いましたが、我が酒人ふぁ～むも不変である42.5haの土地を一集落一農場というかたちで、充実しつつある機械設備を有効利用し、費用対効果に見合う農作業を行ってきました。

また、他の営農組合では、若いオペレーターの育成に大変苦勞をされているように聞きます。幸いにも、我が酒人ふぁ～むにおいては、オペレーターが誘いあって参加してくれることに、酒人ふぁ～むの未来に希望が持てるものと安心するものです。これからも、よろしくお願いします。この一年間の結果につきましては、後ほど担当の理事より報告させていただきます。

最後になりますが、私が酒人ふぁ～むに参加させていただいてから15年ほど経過しました。この間、組合員の方をはじめ、いろいろな方のご指導ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。ましてや、この三年間は代表理事組合長という重責を担うこととなりました。理事役員の方をはじめ多くの方には多大な迷惑をかけたと思っております。この場を借りてお詫び申し上げます。

これからも、「酒人ふぁ～む」が未来永劫において、成長してくれることを祈願し、私の挨拶とします。

平成30年2月25日

人は、人の為に成らずして、人にあらず

農事組合法人 酒人ふぁ～む

代表理事

第19回通常総会次第

と き：平成30年2月25日（日）

午後1時30分より

ところ：酒人公民館 1階大広間

1. 開会のことば
2. 代表理事あいさつ
3. 来賓ご祝辞

（ 休 憩 ）

4. 総会成立宣言
5. 議長の選任
6. 書記の指名
7. 議事
8. 役員を選任
9. 閉会のことば

議長氏名	
------	--

議事録署名人	議長および出席理事
--------	-----------

組合員数	55人	出席人数	人
------	-----	------	---

第19回通常総会提出議案

- 第1号議案 平成29年度事業報告について
平成29年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、
剰余金処分案及び附属明細書の承認について
- 第2号議案 平成30年度事業計画の承認について
- 第3号議案 役員報酬（手当）枠の承認について
- 第4号議案 任期満了にともなう役員改選について
- 附帯決議 この総会において決議した事項のうち、行政庁に提出する書類で補正・変更を必要とする場合は、その趣旨に反しない範囲内において、その変更を理事会に一任する。

以上のとおり上程いたします。

平成30年2月25日

農事組合法人 酒人ふあ～む
代表理事

平成 29 年度事業報告

生産部

1. 生産概要

地域性を活かした、米・麦・大豆・野菜を中心とした水田フル活用による作付け体系を継続しました。特に栽培面積を拡大した契約業務用米「きぬむすめ」は、化成肥料の施肥と乾燥調製は JA こうかが一括しておこなうことで、繁茂期の作業分散ができたことから晩生品種の適期収穫をおこなえました。他の水稻品種においては、「滋賀県環境こだわり農産物」として生産管理し、取り組んで4年目となる有機無農薬栽培の「有機 JAS 米キヌヒカリ」の栽培技術の向上に努めました。



また、果樹の取組では「いちじく」を植栽して10年以上経過し、害虫等で樹勢が衰えたことから新品種を導入し、作業性が向上する配置に改植をおこないました。また、新たな取り組みとしてパイプハウスを活用した「根域制限低位高ブドウ栽培法」で9本の「ブドウ」の苗木を植栽しました。

① 水 稻

4月中旬以降、天候が安定し、雨量が少なく植え付け準備は順調に進みましたが、好天が続いたことから耕土が過乾燥となり水の回りが悪く代掻き作業に時間がかかり、植え付を延期するほ場がありました。田植後は、気温の高い日が続き、田面に藻が発生したほ場は生育が遅れ気味となりました。6月は気温の低い日があり株の張りが悪く、7月には気温の高い日が続き、ほ場中央が水量不足となったほ場もあり、前年に比べ収量が下回る結果となりました。

② 小 麦

平成 28 年 11 月上旬から播種をおこないましたが、中旬以降は降雨による作業遅れが見られました。12 月から 1 月上旬の気温が平年より高く推移したことから生育は順調でしたが、2 月が低温となる日が多くそのため分けつが少なくなりました。4 月以降は好天に恵まれ気温も高く赤カビ病の発生はほとんど見られませんでした。2 月の低温の影響で穂数が少ない傾向となりました。5 月も降雨が少なく高温となる日が多く肥抜けせず乾燥が進まないため、10 日遅れての収穫開始となりましたが、前年を上回る収量となりました。

③ 大 豆

麦刈後、降雨量も多くほ場準備が遅れ播種期間が長くなり、生育が揃わず中耕除草・培土作業も長期間となりましたが、適度な降雨もあり良好な生育となりました。病虫害防除は予防が重要であることから適期に実施したことで被害は昨年と比べ減少しました。ただ、10 月の 2 週連続の台風通過による倒伏被害が発生し、刈取りに時間がかかり病害粒も多く、収穫量も減少しました。

選別作業では穀物コンテナを活用し、作業の軽減をはかり、最後の仕上げは熟練と眼力による、すこやか・なごやかグループでの手作業に委ね、品質は前年以上に仕上げていただきました。

④ 野菜・花卉等

露地野菜では、JA 育苗センターからの野菜苗（セルトレイ苗）で定植機による植え付をおこない、こまめな栽培管理による適期防除・除草など低コスト栽培をおこないました。

【 白 ネ ギ 】 2月～3月出荷

JA ブランドの「忍ねぎ」としてまた、規格外は加工用として特に3月が低温傾向であったため、全量収穫し、出荷しました。

【 白 菜 】 12月出荷（契約栽培）

適期に病虫害防除をおこないましたが、早生品種では一部アブラムシの被害、また、茎部に病気が発生しました。

【 キ ャ ベ ツ 】 2月～3月出荷（契約栽培）

鉄コンテナ（200 kg 詰め）で効率的に出荷しました。

【 た ま ね ぎ 】 6月出荷（契約栽培）

生育期に手作業で除草をして頂いたのと、適期に収穫作業ができたことで前年以上の収量となりました。

【 ブ ロ ッ コ リ ー 】 1月～3月出荷、11月～12月出荷

花野果市、ここぴあ等へ出荷し、店頭でも消費者から高評価を得ました。

【 ハ ウ ス 野 菜 】 年5回の出荷

育苗ハウスの空き期間に、小松菜・ホウレンソウの周年栽培し、花野果市、ここぴあ等での直売とJA こうかから大津・京都市場へ出荷しました。

【 小 菊 】 7月～9月出荷、12月出荷

盆用・彼岸用の仏花として出荷、12月は寒菊を仏花として出荷。

需要期に合わせ開花時期を調整管理できる方法を検討します。

【 イ チ ジ ク 】

改植をおこない作業効率の上がる植栽とし、一部を病虫害防除を減らせる雨除けハウス栽培法を取り入れました。

【 ブ ド ウ 】

ハウスの5棟目に灌水設備があることから、根域制限低樹高栽培の技術指導を受け、9本の苗木を植栽しました。本格的な収穫ができるまで3年はかかります。

⑤ 和牛飼料用稲わら

8月下旬からの早生品種収穫後は、順次条件の良いほ場からわらの反転作業をおこない、10ほ場の10haにおいては好天に恵まれ効率よく集荷できましたが、晩生品種の収穫期は定期的に降雨があり、ほ場と稲わらが十分に乾燥せず、梱包すると保管中にカビが発生し、品質が低下することから集荷を断念しました。



2. 生産実績

① 水 稻

水 稻	計 画				実 績				前年 実績
	栽培 面積 (a)	生産量			栽培 面積 (a)	生産量			
		収量 (kg)	袋 (30kg)	俵/反 (10a)		収量 (kg)	袋 (30kg)	俵/反 (10a)	俵/反 (10a)
うるち玄米	1,929.8	98,400	3,280.0	8.5	1,931.0	88,986	2,966	7.68	8.79
もち(羽二重)玄米	196.1	9,300	310.0	8.0	169.0	7,262	242	7.16	7.162
有機米	87.6	2,700	90.0	5.0	115.0	2,790	93	4.04	2.95
合 計	2,213.5	110,400	3,680.0	8.3	2,215.0	99,038	3,301	7.45	8.39

② 小 麦

小 麦 (農林61号)	計 画				実 績				前年 実績
	栽培 面積 (a)	生産量			栽培 面積 (a)	生産量			
		収量 (kg)	袋 (30kg)	俵/反 (10a)		収量 (kg)	袋 (30kg)	俵/反 (10a)	俵/反 (10a)
計	1,856.6	61,300	2,040	5.5	1,849.0	68,944	2,298	6.21	4.54

③ 大 豆

大 豆 (ふくゆたか)	計 画				実 績				前年 実績
	栽培 面積 (a)	生産量			栽培 面積 (a)	生産量			
		収量 (kg)	袋 (30kg)	俵/反 (10a)		収量 (kg)	袋 (30kg)	俵/反 (10a)	俵/反 (10a)
種子用	1,228.0	22,100	740	3.0	1,431.0	26,390	880	3.07	3.67
一般用	622.0	11,200	380	3.0	404.0	4,812	160	1.98	2.27
合 計	1,850.0	33,300	1,120	3.0	1,835.0	31,202	1,040	2.83	3.15

④ 野 菜、花

		計 画			実 績			
		栽培 面積 (a)	生産量		栽培 面積 (a)	荷 姿	出荷量	
			収量 (kg)	箱・kg			収量 (kg)	合 計 (kg)
水 田 露 地 ・ 畑	ブロッコリー	50.0	4,500	10,000個	30.0	4,950個 117箱	2,000 585	2,585
	はくさい	40.0	20,000	8,000個 7,500箱	40.0	400個 598コンテナ	1,200 9,000	10,200
	キャベツ	40.0	20,000	10,000個 200箱	40.0	900個 60鉄コンテナ	1,800 13,557	15,357
	白ネギ	50.0	10,000	12,000袋 1,000箱	50.0	8,300束 コンテナ、箱	2,300 5,825	8,125
	たまねぎ	20.0	7,000	350箱	20.0	340コンテナ	5,130	5,130
ハ ウ ス 等	小菊	10.0		5,000束	10.0	束		6,100束
	こまつな	5.0		13,000袋	5.0	束		9,850袋
	ほうれんそう	2.0			2.0	束		580束
	下田なす	1.0			1.0	袋		1,900袋

⑤ 和牛飼料用稲わら

飼料用 稲わら	計 画				実 績			
	採集 面積 (a)	生産量			採集 面積 (a)	生産量		
		収集量 (kg)	梱包 (7 kg)	梱包/ 反		収集量 (kg)	梱包	梱包/反
	1,800.0	45,000	6,400	40	1,000.0	26,636	3,843	38

※ JA こうか稲わら生産供給組合から信楽町宮町の河上牧場へ出荷

3. 労務時間実績

		平成29年度 内 訳 (単位：時間)				平成29年 度計画	前年度 実績	
		役員・ オペレータ	すこやか	なごやか	合同大豆 手選別			実 績 合 計
穀 類	水 稻	2,117	113			2,230	2,700	2,583
	小 麦	576				576	700	710
	大 豆	442				442	700	695
	大豆機械選別	503				503	800	885
	大豆手選別	0	1,299		2,025	3,324	2,200	2,877
	稲 わら	238	8			245	400	205
	小 計	3,874	1,420	0	2,025	7,318	7,500	7,955
野菜等	野菜・果樹	1,959	1,958	1,998		5,915	4,800	4,786
	小 菊	142	696	1,165		2,002	1,000	1,243
	小 計	2,101	2,654	3,163	0	7,917	5,800	6,029
共 通		843	12			855	900	920
合 計		6,818	4,085	3,163	2,025	16,090	14,200	14,904



営 業 部

米のJA出荷分におきましては前年より米価は上がりましたが、収穫量が減少し販売高は未達となりました。直販に関しましては新たな米穀販売業者との取引が始まり飯用米販売の補てんができました。野菜、花きにおきましては、ブロッコリー、白ネギ、小菊は予算達成また昨対をクリアすることができました。今後とも各グループや生産部と連携を組み、増収を目指してまいります。

① 穀類市場（マーケット）別実績（出荷単位は30kg/袋）

水 稻		計 画			実 績			
		出荷量 (袋)	単価 (円/袋)	販売高 (千円)	出荷量 (袋)	単価 (円/袋)	販売高 (千円)	対比 (%)
J A	うるち玄米	2,050	5,500	11,300	1,623	6,320	10,260	91%
	もち(羽二重)玄米	300	7,500	2,300	253	6,700	1,695	74%
	過年度精算						1,453	
	小 計	2,350		13,600	1,876		13,408	99%
直 販	うるち玄米	1,710	7,800	13,300	1,728	7,700	13,318	100%
	有機JAS米	90	11,000	1,000	34		460	46%
	もち(羽二重)玄米	10	10,500	100	11	10,500	116	116%
	小 計	1,810		14,400	1,773		13,894	96%
合 計		4,160		28,000	3,649		27,302	98%

小 麦 農林61号		計 画			実 績			
		出荷量 (袋)	単価 (円/袋)	販売高 (千円)	出荷量 (袋)	単価 (円/袋)	販売高 (千円)	対比 (%)
J A		2,040	700	1,400	2,298	490	1,126	80%
過年度精算							156	
合 計		2,040		1,400	2,298		1,282	92%

大 豆 ふくゆたか		計 画			実 績			
		出荷量 (袋)	単価 (円/袋)	販売高 (千円)	出荷量 (袋)	単価 (円/袋)	販売高 (千円)	対比 (%)
種 子 用		740	13,000	9,600	750	18,000	13,500	141%
食 糧 用		380	1,500	600	160	6,000	960	160%
過年度精算							7,919	
合 計		1,120		10,200	910		22,379	219%

② 野菜栽培形態別販売実績

野菜	計 画			実 績	
	出荷量	単価 (円)	販売高 (千円)	販売高 (千円)	対比 (%)
ブロッコリー	10,000 個	100	1,000	1,208	121%
白菜	8,000 個	100	800	521	65%
キャベツ	10,000 個	100	1,000	782	78%
小松菜	13,000 袋	100	1,300	959	74%
白ネギ	12,000 袋	100	1,200	1,701	142%
小菊	5,000 束	240	1,200	1,542	129%
玉ねぎ	7,000 kg	140	1,000	373	37%
その他	0		0	1,160	
合 計			7,500	8,246	110%

③ 和牛飼料用稲わら販売実績（JA 稲わら生産供給組合）

稲わら	計 画			実 績			
	出荷量 7kg/梱包	単価 (円/梱包)	販売高 (千円)	出荷量 7kg/梱包	単価 (円/梱包)	販売高 (千円)	対比 (%)
	6,400	350	2,240	3,843	374	1,438	64%
合 計			2,240			1,438	64%



機械施設部

政府による政策転換により農業情勢は厳しい状況になっております。そうした中で、クローラートラクターがいよいよ更新しなければならぬ状況になりました。クローラートラクターは平成14年度に「地域農業改革事業」により導入し、一般的なトラクターの耐久年数7年の概ね倍の年数が経っています。均平作業など大きく負荷がかかる作業はクローラートラクターでないとできない作業であり、機械に大きな負荷がかかるため、これまでクローラーの交換等、高額な修理も行いながら作業を行ってきましたが、いよいよ更新を余儀なくされる状況になりました。今まで多くの補助事業により厳しい条件がある中、機械の導入・更新を行ってきましたが、今回は、該当する補助事業がなく、自己資金による更新となりました。なお、機械は2月に導入予定ですので、従来の機械と併せてこれらの機械も大切に使っていきます。

過去10年の農作業中の死亡事故発生状況によりますと、毎年全国で300名以上の方が農作業で死亡されており、多い年では400名を超えています。平成27年度においては滋賀県において9名もの方が死亡されておられます。その中でも乗用型トラクターによる事故は毎年30%以上あり、農作業の繁茂期の4月から10月に多く発生しています。幸い「酒人ふあ〜む」では事故は発生しておりませんが、いつ発生するかわかりません。農作業という観点から安全に対する意識は薄いかわかりませんが、一度事故が発生すると本人が痛い思いをするだけでなく、組合にも大きな痛手となります。事故は、慣れや、ちょっとした気のゆるみにより発生します。今一度「安全」の大切さを再認識して頂き、常に安全に対する意識を持って、作業をして頂きたいと思えます。

また、今後も更新の時期が近づいている機械が増えてきている為、補助事業の動向も見ながら、資金面も含め企画管理部と調整していきます。

物 件		単位	数量	取得額 (円)
サタケ	業務用糶摺り機 NRZ5500GK	台	1	1,300,000
ヤンマー	管理機 YK750RK-KG	台	1	310,000
	乗用草刈機 (中古機) MASAO CM220	台	1	324,000
	大豆用昇降機 LB3-620	台	1	215,000
	いちじく用雨よけハウス	式	1	815,400



企画管理部

1. 「収穫感謝祭 2017」開催

区民皆様のご来場、誠にありがとうございました。今回は、酒人米を購入いただいている区外のお得意先にも招待状をお送りしたところ、多数の方にお越しいただき、改めて酒人米の良さをアピールすることができました。

お得意先すべてに案内できるよう、努めてまいります。



2. 事務所便所の改修

男子用の便器は、臭いのあがらない封水設備を設置し、女子用の便器は節水型に交換しました。環境改善と経費軽減につながり、施設利用者には好評です。



3. 若手オペレーター研修参加

「秋作業機械オペレーター研修会」は、さんとさんが、「滋賀県農業機械研修（大型特殊農耕用免許取得研修）」は、さんが受講されました。今後も、次世代を担う若手オペレーターの資格・技術取得を応援してまいります。

4. 視察受け入れ 15,000 人突破

年	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	累計
先	8	17	9	22	46	104	134	82	75	74	50	50	47	34	33	31	16	18	850
人	247	403	267	408	918	1,760	2,494	1,439	1,336	974	736	928	880	611	591	495	250	375	15,112

これまでに、延 850 団体、15,112 人の方が来村されました。

【平成 29 年度来視】

月 日	来 視 先	内 容	人数
2 / 1		先進事例視察	10
3 / 7		先進事例視察	3
3 / 8		先進事例視察	9
3 / 18		先進事例視察	20
3 / 23		先進事例視察	4
4 / 11		先進事例視察	20
4 / 13		先進事例視察	20
6 / 3		先進事例視察	24
7 / 4		先進事例視察	11
8 / 29		先進事例視察	9
9 / 8		先進事例視察	80
10 / 28		先進事例視察	16
10 / 29		先進事例視察	21
11 / 6		先進事例視察	29

月 日	来 視 先	内 容	人数
11/12		先進事例視察	32
11/18		先進事例視察	21
11/26		先進事例視察	14
12/16		先進事例視察	32
合 計	18先 (前年度比 +2先)	375人 (前年度比+125人)	

【平成29年度受講研修】

月 日	研 修	出 席 者	内 容
1/24	大規模稲作経営者部会		役員会
1/28	J Aこうか特別栽培米生産部会		総会
	甲賀地域農業者のつどい		講演 事例紹介
1/30	花野果倶楽部「ぐうびいひろば」		視察研修
2/24	春作業機械オペレーター研修会		研修
	J Aこうか花卉部会		研修
2/27	J Aこうか大規模稲作経営者部会		総会
3/ 1	J Aいちじく生産部会		研修会
3/ 2	滋賀県園芸振興大会		花き野菜果樹
3/ 8	大規模稲作経営者部会		総会
3/ 9	甲賀地域集落営農法人連絡協議会		総会
3/12	有機認定講習会 (民間稲作研究所)		講習会
3/13	水口良質米研究会総会		研修会
	花野果倶楽部		総会
3/21	みずかがみ栽培研修会		研修
3/27	業務用契約栽培米 (きぬむすめ) 研修会		研修
3/28	忍葱研修会		研修会
4/14	水口良質米研究会総会		総会
4/17	J Aこうか花卉部会		総会
4/26	甲賀市農業再生協議会		総会
	J Aいちじく生産部会		総会
4/27	大規模稲作経営者部会		役員会
	J Aこうか露地野菜部会		総会
5/26	契約タマネギ出荷調整会議		会議
6/ 3	あぜみちモーニングスクール (稲作肥)		現地研修会
6/ 8	J Aこうか花卉部会		研修会
6/ 9	J Aいちじく生産部会		研修会
6/12	大豆栽培技術研修会		研修会
6/24	J Aこうか特別栽培米生産部会		穂肥現地研修会
6/27	人・農地プラン検討会		検討会
7/ 4	民間稲作研究所認証センター		認証検査
7/ 5	大規模稲作経営者部会		研修会
7/ 6	果樹栽培研修会 (管内見学)		研修会

月 日	研 修	出 席 者	内 容
7/10	J Aこうか露地野菜部会		作付会議研修
7/11	契約キャベツ栽培研修会		研修会
7/12	J Aいちじく生産部会		現地研修会
7/13	J Aこうか花卉部会		研修会
7/19	忍葱現地研修会		現地研修会
7/22	秋作業機械オペレーター研修会		研修会
7/26	稲わら生産供給組合		総会
8/ 5	甲賀地域集落営農法人連絡協議会		研修会
8/ 9	水口良質米研究会総会		研修会
8/25	大規模稲作経営者部会		役員会
8/29	果樹栽培研修会		研修会
8/30	契約タマネギ栽培研修会		研修会
8/31	大豆指定種子生産ほ場審査		審査
9/ 6	忍葱現地研修会		現地研修会
10/ 3	麦栽培研修会		研修会
10/13	J Aこうか花卉部会		研修会
	忍葱現地研修会		現地研修会
10/16	滋賀県農業機械研修 (~2/2)		機械研修
10/20	野菜EXPO		実演試乗会
10/24	契約タマネギ栽培研修会		研修会
10/26	甲賀地域集落営農法人連絡協議会		視察研修
	J Aこうか露地野菜部会		現地研修会
11/11	大規模稲作経営者部会		農機展示会
11/14	大豆指定種子生産ほ場巡回		巡回
11/15	大規模稲作経営者部会		役員会
11/20	大豆指定種子現地調査		現地調査
11/24	忍葱出荷調整会議		目合わせ
11/28	地域農業・農村の持続発展を考える研修会		研修会
12/13	甲賀地域集落営農法人連絡協議会		現地研修会
	J Aいちじく生産部会		研修会
12/15	契約キャベツ出荷調整会議		目合わせ
12/20	果樹(ブドウ)栽培研修		現地研修会
12/21	甲賀市農業再生協議会		会議



農作業安全研修会 (甲賀農産普及課資料拝借)



ブドウ栽培研修 (酒人ふぁ〜む)

貸借対照表

農事組合法人酒人ふあーむ

平成29年12月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	86,575,291	【流動負債】	8,858,357
現金・預金	47,500,488	未払金	7,777,717
売掛金	18,126,412	預り金	146,700
貸倒引当金	△1,627,500	リース債務	748,440
農産物	606,060	未払法人税	185,500
棚卸品	1,180,848		
未収金	3,624,460	【固定負債】	71,123,383
仮払金	17,164,523	長期借入金	20,392,000
		長期リース債務	1,193,976
【固定資産】	36,899,693	農業経営基盤強化準備金	49,537,407
【有形固定資産】	35,334,800	負債の部合計	79,981,740
建築物	44,615,395	純資産の部	
構築物	5,911,832	【資本金】	13,530,000
機械装置	20,405,117	出資金	13,530,000
農機具	36,604,743	【利益剰余金】	29,963,244
車両運搬具	4,395,400	利益準備金	9,928,355
工具器具備品	1,104,000	当期末処分剰余金	20,034,889
減価償却累計額	△85,785,130		
土地	2,844,363		
リース資産	5,239,080		
【投資その他の資産】	1,564,893		
外部出資金	50,000		
差入保証金	14,670		
保険積立金	1,500,223		
		純資産の部合計	43,493,244
資産の部合計	123,474,984	負債・純資産合計	123,474,984

損益計算書

農事組合法人酒人ふあーむ

自 平成29年 1月 1日 至 平成29年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
経常損益の部		
【事業損益の部】		
【事業収益】		
【販売高】		
販 売 高	60,778,257	
奨 励 助 成 金	25,334,736	
販 売 高 合 計		86,112,993
【事業費用】		
【生産原価】		
当 期 商 品 仕 入 高	91,279	
期 首 農 産 物 棚 卸 高	1,165,500	
当 期 農 産 物 原 価	41,417,343	
合 計	42,674,122	
期 末 農 産 物 棚 卸 高	606,060	
事 業 原 価	42,068,062	42,068,062
事 業 総 利 益		44,044,931
【事業管理費】		
事 業 管 理 費 合 計	5,784,508	5,784,508
事 業 利 益		38,260,423
【事業外損益の部】		
【事業外収益】		
受 取 利 息 等	321	
受 取 配 当 金	500	
雑 収 入	1,573,484	
事 業 外 収 益 合 計		1,574,305
【事業外費用】		
支 払 利 息 等	39,063	
事 業 外 費 用 合 計		39,063
経 常 利 益 金 額		39,795,665
【特別損益の部】		
【特別利益】		
固 定 資 産 売 却 益		
そ の 他 特 別 利 益		
特 別 利 益 合 計		0
【特別損失】		
固 定 資 産 除 却 損	1	
固 定 資 産 圧 縮 損		
農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 繰 入	18,967,375	
特 別 損 失 合 計		18,967,376
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		20,828,289
法 人 税 等		793,400
当 期 純 利 益 金 額		20,034,889

事業管理費内訳書

農事組合法人酒人ふあーむ

自 平成29年 1月 1日 至 平成29年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額
役 員 報 酬	670,000
福 利 厚 生 費	155,520
教 育 ・ 研 修 費	278,170
旅 費 交 通 費	3,850
通 信 費	169,219
交 際 費	584,782
支 払 手 数 料	10,978
諸 会 費	142,000
水 道 光 熱 費	53,251
事 務 用 消 耗 品 費	160,279
修 繕 費	438,584
租 税 公 課	465,050
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	1,627,500
雑 費	628,258
税 務 顧 問 料	397,067
事 業 管 理 費 合 計	5,784,508

事業原価内訳書

農事組合法人酒人ふぁーむ

自 平成29年 1月 1日 至 平成29年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
【総事業費用】		
【資材費】		
種 苗 費	3,445,034	
肥 料 費	5,600,878	
農 薬 費	3,236,690	
諸 材 料 費	1,195,868	
合 計	13,478,470	
資 材 費 合 計		13,478,470
【労務費】		
農 業 労 災 費	237,361	
労 務 費 合 計		237,361
【その他生産費】		
農 具 費	511,998	
作 業 委 託 料	4,062,046	
土 地 改 良 水 利 費	2,602,320	
動 力 光 熱 費	2,072,297	
修 繕 費	6,893,064	
荷 造 運 賃 送 費	1,099,500	
機 械 賃 借 料	34,236	
年 貢 料 (借 地 料)	4,245,179	
農 業 共 済 費	1,517,635	
雑 費	303,865	
減 価 償 却 費	4,359,372	
そ の 他 生 産 費 合 計		27,701,512
当 期 事 業 原 価		41,417,343
合 計		41,417,343
当 期 農 産 物 原 価		41,417,343

剰余金処分案

(単位:円)

当期末処分剰余金の処分

項 目	金 額
当期末処分剰余金の処分	20,034,889
合 計	20,034,889
これを次のとおり処分する	
利益準備金	2,003,489
従事分量配当金	17,084,300
出資配当金	947,100
次期繰越剰余金	0

以上のとおり報告します。

農事組合法人酒人ふあーむ

代 表 理 事
理 事
理 事
理 事
理 事
理 事
理 事

附属明細書

前期実績・事業計画実績対比

自 平成29年1月1日～至 平成29年12月31日

単位:千円

勘定科目	前期実績①		事業計画②		実績額③		前期対比③-①		予算対比③-②	
	金額	@	金額	@	金額	@	金額	@	金額	@
[耕作面積]	換算425.2反		換算428.3反		換算428.3反					
		425.2		428.3		428.3		3.1		0
[事業収益]										
[販売高]										
販売高	49,503	116	48,340	113	60,778	142	11,275	26	12,438	29
奨励・助成金	23,703	55	23,230	54	25,335	59	1,632	4	2,105	5
販売高合計	73,206	171	71,570	167	86,113	201	12,907	30	14,543	34
[事業費用]										
[期首農産物棚卸]	569		1,166		1,166		597		0	
[商品仕入高]	120		100		91		-29		-9	
[資材費]										
[生]種苗費	3,549	8	2,710	6	3,445	8	-104	0	735	2
[生]肥料費	5,754	13	5,500	13	5,601	13	-153	0	101	0
[生]農薬費	2,256	5	3,300	8	3,237	8	981	2	-63	0
[生]諸材料費	895	2	1,000	2	1,196	3	301	1	196	0
生産資材費合計	12,454	29	12,510	29	13,479	31	1,025	2	969	2
[労務費]										
[生]農業労災費	225	1	225	1	237	1	12	0	12	0
労務費合計	225	1	225	1	237	1	12	0	12	0
[その他生産費]										
[生]動力光熱費	1,866	4	2,420	6	2,072	5	206	0	-348	-1
[生]農具費	1,416	3	300	1	512	1	-904	-2	212	0
[生]修繕費	4,852	11	5,115	12	6,893	16	2,041	5	1,778	4
[生]機械賃借料	23	0	40	0	34	0	11	0	-6	0
[生]年貢料(借地料)	4,208	10	4,100	10	4,245	10	37	0	145	0
[生]作業委託料	2,329	5	2,500	6	4,062	9	1,733	4	1,562	4
[生]土地改良水利費	2,624	6	2,624	6	2,602	6	-22	0	-22	0
[生]農業共済費	1,510	4	1,610	4	1,518	4	8	0	-92	0
[生]荷造運賃送料	491	1	290	1	1,100	3	609	1	810	2
[生]雑費	231	1	220	1	304	1	73	0	84	0
[生]減価償却費	5,423	13	5,327	12	4,359	10	-1,064	-2	-968	-2
その他生産費合計	24,973	58	24,546	57	27,701	65	2,728	6	3,155	7
[期末農産物棚卸]	1,166		600		606		-560		661	
事業費用合計	37,174	87	37,947	89	42,068	98	4,894	11	4,121	10
[事業総利益]	36,032	84	33,623	79	44,045	103	8,013	19	10,422	24
[生]労務費(従事分量配当)	15,695	37	15,410	36	17,084	40	1,389	3	1,674	4
[改め事業総利益]	20,337	47	18,213	43	26,961	63	6,624	15	8,748	20
[事業管理費]										
事業管理費	3,580	10	4,410	10	5,784	14	2,204	4	1,374	3
[事業利益]	16,757	20	13,803	32	21,177	49	4,420	30	7,374	17
[事業外損益]	347	3	750		1,535	4	1,188	1	785	4
[経常利益]	17,104	22	14,553	34	22,712	53	5,608	31	8,159	19

(注)従事分量配当金は労務費として計算しています。

平成29年度事業実績明細表

自 2017/1/1 ~ 至 2017/12/31

単位:千円

勘定科目	米作		麦作		大豆		野菜・ハウス野菜		花卉	合計	前期対比
[耕作面積]	221.3反		185.7反		185.0反		20.3反		1.0反	428.3反	
[事業収益]											
農産物売上高	27,302	123	1,282	7	22,379	121	6,705	330	1,541	59,210	11,039
その他売上高	1,504	7	30	0	30	0	4	0	1	1,568	236
奨励助成金	3,341	15	14,125	76	6,033	33	1,322	65	514	25,335	1,632
売上高合計	32,147	145	15,437	83	28,442	154	8,031	396	2,056	86,113	12,907
事業原価											
期首棚卸	1,166		0		0		0		0	1,166	596
商品仕入高	46		21		21		3		1	91	-28
[資材費]											
[生]種苗費	1,714	8	466	3	463	3	802	40	0	3,445	-104
[生]肥料費	1,778	8	3,006	16	0	0	750	37	68	5,601	-153
[生]農薬費	1,533	7	408	2	1,054	6	237	12	5	3,237	980
[生]諸材料費	772	3	44	0	66	0	226	11	88	1,196	301
資材費合計	5,797	26	3,924	21	1,583	9	2,015	99	160	13,478	1,025
[労務費]											
[生]労災保険費	119	1	55	0	55	0	7	0	2	237	13
労務費合計	119	1	55	0	55	0	7	0	2	237	13
[経費]											
[生]動力光熱費	1,067	5	477	3	477	3	41	2	10	2,072	207
[生]農具費	265	1	117	1	117	1	10	1	3	512	-904
[生]農具修繕費	3,550	16	1,585	9	1,585	9	138	7	34	6,893	2,041
[生]機械賃借料	34	0	0	0	0	0	0	0	0	34	11
[生]年貢料(借地料)	2,123	10	976	5	976	5	127	0	42	4,245	37
[生]作業委託料	1,558	7	2,214	12	277	1	13	1	0	4,062	1,733
[生]農業水利費	1,301	6	599	3	599	3	78	4	26	2,602	-22
[生]農業共済費	538	2	409	2	571	3	0	0	0	1,518	7
[生]荷造発送費	87	0	21	0	244	1	522	26	225	1,100	608
[生]雑費	155	1	65	0	65	0	8	0	10	304	73
[生]減価償却費	2,245	10	1,003	5	1,003	5	87	4	22	4,359	-1,064
経費合計	12,924	58	7,465	40	5,913	32	1,026	51	373	27,702	2,727
期末棚卸	606		0		0		0		0	606	-559
事業原価合計	19,444	88	11,465	62	7,572	41	3,050	150	536	42,068	4,892
事業総利益	12,703	57	3,972	21	20,869	113	4,981	245	1,520	44,045	8,015
[生]労務費	4,467	20	1,332	7	4,048	22	5,642	278	1,595	17,084	1,389
改め事業総利益	8,235	37	2,640	14	16,822	91	-661	-33	-75	26,961	6,626
[事業管理費]	2,979	13	1,330	7	1,330	7	116	6	29	5,785	2,204
事業利益	5,256	24	1,310	7	15,491	84	-777	-38	-104	21,176	4,422
[事業外損益]	791	4	353	2	353	2	31	2	8	1,535	1,188
経常損益	6,047	27	1,663	9	15,844	86	-746	-37	-96	22,711	5,610

(注) 従事分量配当金は労務費として計算しています。

監 査 報 告 書

平成 30 年 2 月 18 日

農事組合法人酒人ふぁ～む
代表理事 西村 清秋 様

監 事 ⑩

監 事 ⑩

私たち監事は、平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日までの第 16 期事業年度の理事の職務の遂行、事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに附属明細書について監査しました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

- (1) 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、組合の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 剰余金処分案は、法令及び定款に適合しており、組合財産の状況及びその他の事情に照らし、指摘すべき事項は認められません。
- (4) 附属明細書については、特に指摘すべき事項は認められません。
- (5) 理事の職務遂行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

以上

平成 30 年度事業計画

生産部

1. 生産管理

- ・米、麦、大豆、野菜を中心とした水田フル活用による作付け体系の継続
- ・販売価格の安定した契約業務用米の作付けによる、低コスト栽培の拡大
- ・環境こだわり農産物の生産と有機無農薬による有機 JAS 米栽培技術の確立

① 水 稲

	面積 (a)	生産量			
		総収量 (kg)	袋数 (30 kg)	俵/反 (60k/10a)	kg/反
うるち米	1,829.7	93,300	3,110	8.5	510
もち米	168.6	8,000	270	8.0	480
JAS有機米	114.7	3,400	110	5.0	300
合計	2,112.8	104,700	3,490	8.3	498

② 小 麦

	面積 (a)	生産量			
		総収量 (kg)	袋数 (30 kg)	俵/反 (60k/10a)	kg/反
農林 61 号	1,999.7	66,000	2,200	5.5	330

③ 大 豆

フクユタカ	面積 (a)	生産量			
		総収量 (kg)	袋数 (30 kg)	俵/反 (60k/10a)	kg/反
種子用	1,400.0	27,000	900	3.2	192
一般用	547.2	9,850	330	3.0	180
合計	1,947.2	36,850	1,230	3.2	192

④ 野菜・花卉・ハウス野菜・果樹

品 目	面積 (a)	総収量 (kg)	数 量	栽培形態、主な出荷先
ブロッコリー	30.0	4,500	15,000 個	直売所 JA 青果市場
白 菜	40.0	20,000	10,000 個	契約栽培
キャベツ	40.0	20,000	8,000 個	契約栽培
白ネギ	50.0	10,000	12,000 束	直売所、JA 青果市場
たまねぎ	20.0	7,000	—	契約栽培
小松菜、ハウレンソウ	3.0	3,000	13,000 袋	直売所、JA 青果市場
小菊など	15.0	—	8,000 束	直売所、JA 青果市場

⑤ 和牛飼料用稲わら

稲わら	集荷面積(a)	総収量(kg)	数量(1梱包7k)	梱包/反
合 計	1,800.0	45,000	6,400	40

※JA こうか稲わら生産供給組合から信楽町宮町の河上牧場へ出荷

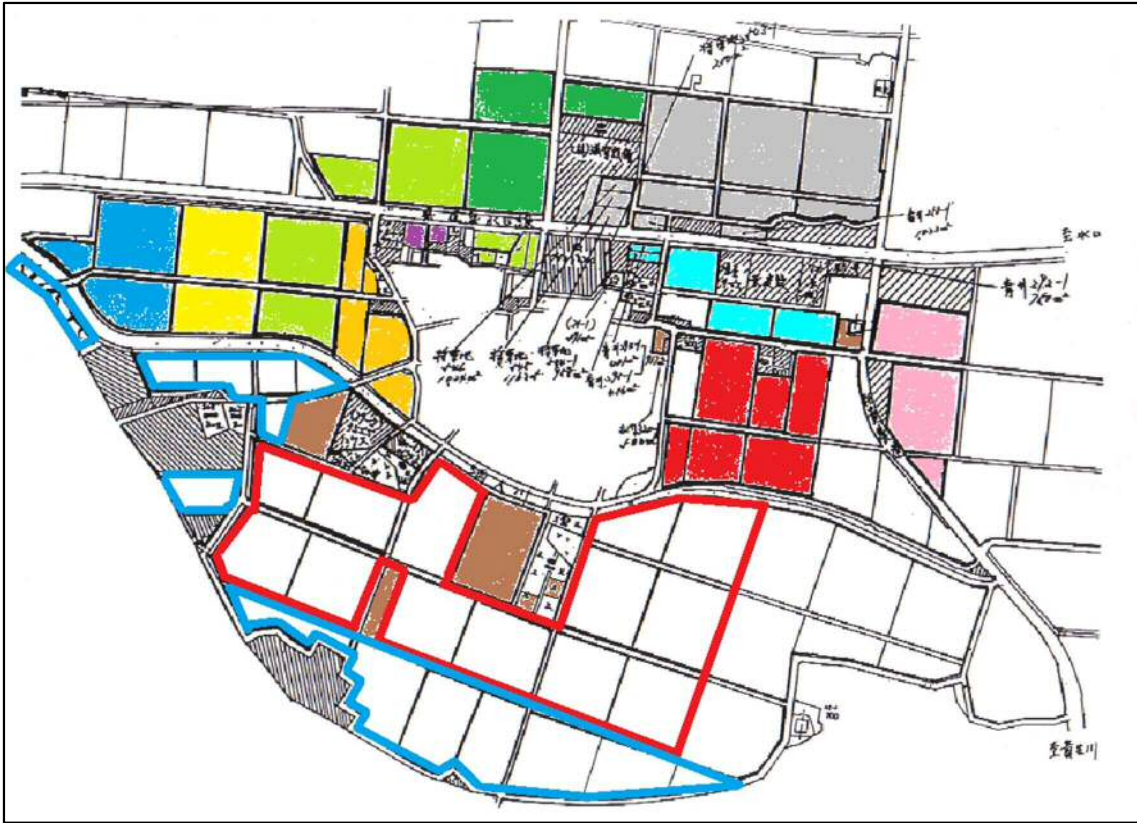
2. 労務管理

- ・生涯現役者の活躍できる場の創設
- ・次世代の担い手との接点づくりと技術の継承

労務時間計画

計 画		内 訳 (単位：時間)				合 計
		役員	すこやか	なごやか	大豆	
		オペレータ			手選別	
穀 類	水 稻	2,300	120	30		2,450
	小 麦	700				700
	大 豆	600				600
	機械選別	800				800
	大豆手選別		800	300	1,500	2,600
	稲わら	300	100			400
	小 計	4,700	1,020	330	1,500	7,550
野菜等	野 菜	1,200	1,600	2,500		5,300
	小 菊	50	550	1,000		1,600
	果 樹	100	100			200
	小 計	1,350	2,250	3,500		7,100
共 通		900				900
合 計		6,950	3,270	3,830	1,500	15,550

平成30年度 作付計画



みずかがみ	ミルクークイーン	ヒノヒカリ
日本晴	キヌヒカリ	コシヒカリ
きぬむすめ	羽二重もち	有機キヌヒカリ
小麦 → 種子大豆	小麦 → 一般大豆	小 菊
野菜・果樹		

機械施設部

安全・安心・新鮮な農産物の生産、販売するための施設及び機械の設備投資を各部と調整・連携し進めていきます。

今後も、機械・設備の更新が課題となっていくしますので、費用対効果を十分に考慮し、経費を削減した低コスト農業に努めます。

[重点方針]

1. 保有資産の管理
2. 更新機械に対する検討

[事業計画]

1. 維持コストと更新コストを考慮した投資計画と経費の圧縮
2. 機械の取り扱いに対する意識改革
3. オペレーターの育成（資格の取得）

投資計画

投資予定資産			予定金額（円）
クローラートラクター	YT5113CYUQPH	※前回総会承認済み	10,540,000
野菜運搬機	NC16A	※前回総会承認済み	600,000
ニプロ ウイングハロー	WMD4100NOL		1,500,000
ぶどう棚設置・付属品	一式		800,000
低温倉庫			3,000,000



平成30年度事業計画明細表

自 2018/1/1 ~ 至 2018/12/31 単位:千円

勘定科目	米作		麦作		大豆		野菜・ハウス野菜		花卉	合計
[耕作面積]	211.2反		199.9反		194.7反		20.3反		1.0反	428.3反
[事業収益]										
農産物売上高	24,300	115	1,100	6	18,200	93	6,500	320	1,600	51,700
その他売上高	2,250	11	0	0	0	0	0	0	0	2,250
奨励助成金	1,850	9	13,500	68	5,500	28	1,200	59	50	22,100
売上高合計	28,400	134	14,600	73	23,700	122	7,700	379	1,650	76,050
事業原価										
期首棚卸	606		0		0		0		0	606
商品仕入高	0		0		0		100		0	100
[資材費]										
[生]種苗費	1,600	8	500	3	500	3	800	39	0	3,400
[生]肥料費	1,800	9	2,000	10	0	0	700	34	50	4,550
[生]農薬費	1,500	7	800	4	1,500	8	200	10	10	4,010
[生]諸材料費	600	3	0	0	50	0	200	10	0	850
資材費合計	5,500	26	3,300	17	2,050	11	1,900	94	60	12,810
[労務費]										
[生]労災保険費	130	1	55	0	55	0	9	0	1	250
労務費合計	130	1	55	0	55	0	9	0	1	250
[経費]										
[生]動力光熱費	1,248	6	528	3	528	3	84	4	32	2,420
[生]農具費	260	1	110	1	110	1	18	1	3	500
[生]農具修繕費	2,600	12	1,150	6	1,200	6	110	5	55	5,115
[生]機械賃借料	40	0	0	0	0	0	0	0	0	40
[生]年貢料(借地料)	2,236	11	946	0	946	5	151	0	22	4,300
[生]作業委託料	1,500	7	2,300	12	0	0	50	2	0	3,850
[生]農業水利費	1,365	6	577	0	577	3	92	5	13	2,624
[生]農業共済費	570	3	420	2	550	3	65	3	5	1,610
[生]荷造発送費	50	0	0	0	0	0	150	7	150	350
[生]雑費	96	0	41	0	31	0	52	3	0	220
[生]減価償却費	2,756	13	1,219	6	1,272	7	53	3	27	5,327
経費合計	12,721	60	7,291	36	5,214	27	824	41	306	26,356
期末棚卸	1,200		0		0		0		0	1,200
事業原価合計	17,757	84	10,646	53	7,319	38	2,832	135	367	38,922
事業総利益	10,643	50	3,954	20	16,381	84	4,868	240	1,283	37,128
[生]労務費	4,976	24	1,586	8	4,286	22	4,346	214	1,207	16,400
改め事業総利益	5,667	27	2,368	12	12,095	62	522	26	76	20,728
[事業管理費]	3,120	15	1,320	7	1,320	7	210	10	30	6,000
事業利益	2,547	12	1,048	5	10,775	55	312	15	46	14,728
[事業外損益]	520	2	220	1	220	1	35	2	5	1,000
経常損益	3,067	15	1,268	6	10,995	56	347	17	51	15,728

(注) 従事分量配当金は労務費として計算しています。

【第3号議案】 役員報酬（手当）枠の承認について

役員報酬（手当）枠は、理事、監事、相談役の昨年度における支給実績および事業実績等を考慮し、総額 万円を限度として承認をお願いするものです。

なお、個々の役員報酬（手当）額の決定および支給方法などについては、理事会に一任頂くことに、併せて承認をお願い致します。

役員手当は、以前から、従事分量配当の一部として支給してまいりましたが、税法上、経費とみなされ、従事分量配当とは分離した処理を求められています。

本件、総会毎の承認が必要であり、前回同様に上程させていただくものです。

支給額については、組合員に対する従事分量配当の実績を考慮し、かつ責任手当としての性格とのバランスをとり、慎重に検討してまいる所存です。

【第4号議案】 任期満了による役員を選任について

役員推薦委員会により推薦された役員候補者名簿（定款 第19条 第20条）

理事候補者（7名）

監事候補者（2名）

※敬称略 順不同

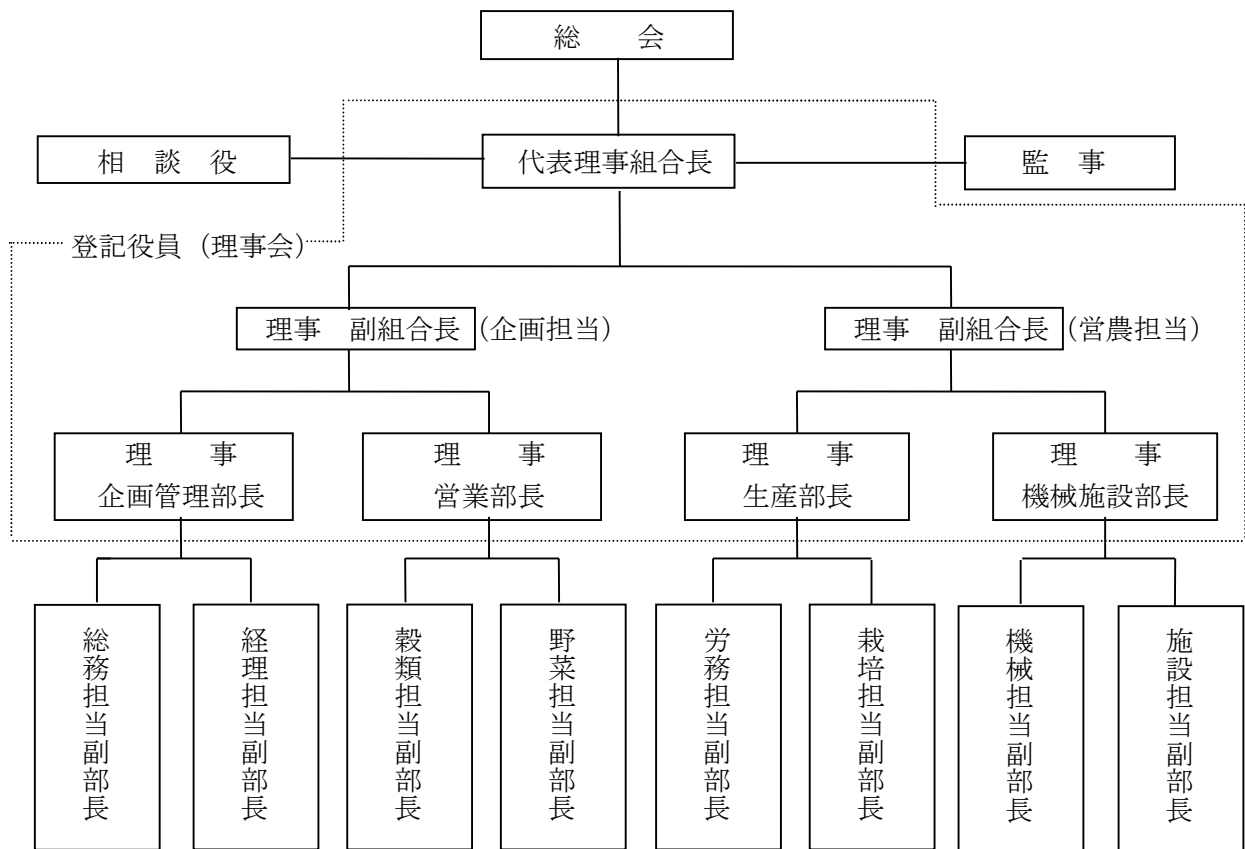
※職務担当は監事の互選とします。

※敬称略 順不同

※職務担当は理事の互選とします。

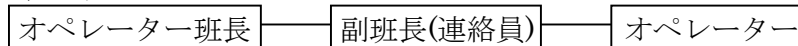
農事組合法人酒人ふあ～む組織図

平成 30 年 2 月 25 日現在



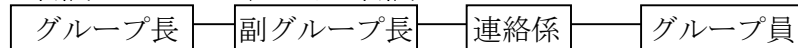
酒人ふあ～む協力組織

① オペレーターグループ



☆酒人区内に居住し、集落営農の趣旨に賛同し、オペレーターとして出役が可能で営農意欲のあるグループ（登録制・60歳時単価見直し）。

② なごやか営農グループ・すこやか営農グループ



☆酒人区住民で、集落営農の趣旨に賛同し、組合の業務（作業）に出役頂ける、営農意欲のあるグループ。

※なごやか営農グループは、主にハウス野菜と花卉、すこやか営農グループは、主に露地野菜を担当していただいておりますが、現在では、両グループが協力して栽培・作業をされています。



農事組合法人 酒人ふあ〜む

2018/2/25